

## 中播磨県民センター地域創生戦略（改定版）

### 【改定の経緯】

令和2年3月に中播磨県民センター地域創生戦略（2020－2024）を策定して以降、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークやオンライン会議が急速に浸透するなど、私たちの働き方や暮らし方が大きく変化した。また、令和3年度末には「多様な地域に、個性（ひと）が輝く中播磨」を基本姿勢とした中播磨地域ビジョン2050を策定した。さらには、今後は大阪・関西万博の開催等中播磨地域が一層飛躍できる機会も控えている。こうした時代潮流を的確に戦略に反映させるため、本戦略の中間年にあたる令和4年度に中間見直しを行う。

### I 目指す姿

中播磨地域ビジョン2050、大阪・関西万博の開催などの情勢の変化や今後の動向を踏まえ、計画期間の後期2カ年（令和5年度～令和6年度）では、以下4つを重点取組方針として設定し、都市部から自然豊かな地域に、多様で個性豊かな人々が自分らしく活躍できる中播磨の実現を目指す。

#### 【重点取組方針】

- 1 豊かな地域資源を活かした更なる誘客促進、交流、にぎわい創出
- 2 新たな活力の創出と多様な働き方の促進
- 3 支え合い、生き生きと暮らすことができる地域づくり
- 4 安全安心な暮らしの実現とシビックプライドの醸成

#### 【目標】

KPI	目標
若者が希望を持てる社会だと思ふ人の割合	15%（※）
観光入込者数	10,327千人
観光宿泊者数	1,458千人
若者の転入超過数（20～39歳）	▲460人
（うち女性の転入超過数）	▲155人
新卒高校生の管内就職割合	65%
お住まいの市・町では、生活の不便さを補うサービス産業が増えていると思ふ人の割合	25%
お住まいの市・町の企業には活気が感じられると思ふ人の割合	40%
お住まいの市・町の駅前や商店街に活気が感じられると思ふ人の割合	35%
地元や県内の農林水産業に活気が感じられると思ふ人の割合	28%
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合	85%
地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思ふ人の割合	50%

※ 将来、中播磨で暮らす全員が、若者が希望を持てる社会だと実感できることを目指し、当面の戦略後期2カ年については、R3地域別の最高（東播磨14.4%）を踏まえ、15%を目指す。

## II 取組の方向性

### 1 豊かな地域資源を活かした更なる誘客促進、交流、にぎわい創出

大阪・関西万博を見据え、世界遺産「姫路城」や日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の歴史的魅力を国内外に発信するとともに、播磨灘の豊かな海の幸や農産物・酒など、様々な地域資源を活かしたフィールドパビリオンの展開支援等一層の魅力発信により更なる誘客促進を図る。加えて、播磨臨海地域道路や姫路港旅客ターミナルエリアのリニューアル等交流基盤の整備・利活用を推進するとともに、移住・二拠点居住等を促進し、一層のにぎわいを創出することで、交流・移動人口の拡大を図る。

### 2 新たな活力の創出と多様な働き方の促進

公民連携による地域課題の解決、産学官連携による技術交流の促進、カーボンニュートラルポートの形成等多様なステークホルダーとのパートナーシップや先端技術の導入等により、GX（グリーントランスフォーメーション）を促進し、SDGs も意識したものづくり力を強化するとともに、デジタル化の進展による DX（デジタルトランスフォーメーション）や仕事に対する人々の価値観の変化等への柔軟な対応、若者の地元就職や女性の活躍を促進し、中播磨地域に新たな活力を生み出す。

### 3 支え合い、生き生きと暮らすことができる地域づくり

高齢者等による地域に根ざした活動を行う団体の支援や地域住民同士のつながりを創出・強化することで、地域の元気づくりを目指すとともに、地域包括ケアシステムの構築支援、小児救急医療の適切な受診行動の促進、災害医療に携わる関係機関の研修・訓練の実施等により、住み慣れた地域で誰もが安心して、地域ぐるみで支え合い、健やかに暮らすことができる地域づくりを推進する。

### 4 安全安心な暮らしの実現とシビックプライドの醸成

災害に強い社会基盤の整備や地域防災力の充実・強化を促進し、自然災害に対する備えを万全にするとともに、野生鳥獣の被害対策等中播磨地域の豊かな自然環境の保全と共生に取り組み、一層の安全・安心な暮らしの実現を図る。加えて、就学・就職等で中播磨地域を離れた出身者の将来的な回帰を促進するため、ふるさと意識、地域への愛着（シビックプライド）の醸成に取り組み、「ふるさと」中播磨を次の世代へと受け継いでいく。

## III 具体的な取組（主なもの）

### 1 豊かな地域資源を活かした更なる誘客促進、交流、にぎわい創出

#### （1）大阪・関西万博と兵庫デスティネーションキャンペーンを見据えた取組の推進

2025 大阪・関西万博や 2023 兵庫デスティネーションキャンペーンの開催を契機に、中播磨地域への交流人口の拡大を図るため、地域資源を磨き上げる「ひょうごフィールドパビリオン」の展開支援や、情報発信、機運醸成を図るための取組を推進する。

#### （2）播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

姫路港が中心を担う播磨臨海地域をカーボンニュートラルに向けた拠点とするための取組を推進する。また、姫路港を起点とした周遊クルーズの実施やクルーズ船誘致等の賑わいづくりにより、姫路港のさらなる活性化を図る。

### (3) 地方回帰の流れを捉えた移住・定住プロジェクトの推進

自然豊かな地域や地元での暮らし・働き方を求めるU J Iターンなど、地方回帰の流れが生まれつつある中、移住・定住希望者への情報発信や、相談、暮らし支援等の環境整備により、中播磨地域への移住・定住を促進するための取組を推進する。

### (4) 交流を支える交通基盤の整備

暮らしや産業、観光など中播磨地域の元気を支える重要な交流基盤として、利便性・安全性を高める道路の整備や、鉄道の利用促進等を進めることで、さらなる交流を促進する。

## 2 新たな活力の創出と多様な働き方の促進

### (1) 公民連携で取り組む中播磨地域の活性化

行政課題の複雑化・高度化が進み、行政のみでの課題解決を図ることは困難となり、公民連携の重要性が高まっている中、中播磨地域の企業等との幅広い連携やネットワークを活かしながら、公民連携で中播磨地域の活性化、課題解決に取り組む。

### (2) ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

産学官の連携による技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図るとともに、ものづくりを支える人材を確保するため、企業の情報を広く発信するなど、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

また、若者のアントレプレナーシップ(起業家精神)を醸成するための取組など、新たな挑戦への支援を行い、地域の新たな活力の創出を図る。

### (3) 多様な働き方の促進

ライフスタイルやライフステージに応じた多様な働き方を促進することで、誰もが自分に合った働き方を選択でき、その能力を活かして活躍できる地域の実現を図る。

### (4) 持続可能な農林水産業の推進

持続可能な農林水産業の確立に向け、中播磨地域の実情に応じた新規就農者サポート、収入安定化のための取組を推進する。また、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等の改修に取り組む。

## 3 支え合い、生き生きと暮らすことができる地域づくり

### (1) 健康で安心できる暮らしづくりの推進

誰もが安心して医療を受けられ、住み慣れた地域で健康に暮らせるよう、子どもから高齢者まで地域ぐるみで支え合う環境づくりを進める。

### (2) 人と人がつながり支え合う地域づくりの推進

地域の課題解決に向けた地域団体等の活動支援による地域住民同士のつながりの創出・強化や、誰もが担い手として活躍できる地域を目指す取組を推進する。

## 4 安全安心な暮らしの実現とシビックプライドの醸成

### (1) 安全安心な暮らしの推進

治水・地震・高潮・土砂災害対策等による災害に強い社会基盤整備や、地域防災力の向上を推進するとともに、日常に潜む犯罪・交通事故・消費者被害等への対策を講じることで、安全安心な暮らしの実現を図る。

### (2) シビックプライドの醸成

地域の営みや地域資源を磨き上げ、その魅力を発信するとともに、地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援することで、子どもや若者が地域に対する愛情・誇りを感じ、住み続けたいと感じられる地域づくりを推進する。

### (3) 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現

生物多様性の確保や森林・農地の持つ多面的機能の維持・保全など人と自然の共生を図るとともにゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進することで、中播磨の豊かな自然環境を次の世代へ受け継ぐ。また、次代を担う子どもたちに環境の大切さを伝える環境学習を推進する。